

たしかな経営のあかし

福岡中央銀行

ミニディスクロージャー誌
第87期 営業の中間ご報告
(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

2007年

平成19年9月期版



も く じ

ごあいさつ 当行の概要	P 1
経営方針・中期経営計画	P 2
Q & A (当行をより深く知っていただくために)	
Q平成19年9月期の業績はどうだったの？	P 3
Q損益の状況は？	P 5
Q自己資本比率はどのくらいなの？	P 6
Q不良債権の状況は？	P 7
Q中間財務諸表は？	P 9
Q地域貢献にはどのように取り組んでいるの？	
(本業を通じた地域貢献)	P 11
(地域の皆さまの豊かなくらしのお手伝い)	P 13
(地域との密着化)	P 15
(安全・便利なCD・ATM)	P 16
Q紛失・変更手続はどうしたらいいの？	P 17
役員・株式のご案内	P 18

当 行 の 概 要

創 立	昭和26年6月
商 号	株式会社福岡中央銀行 (THE FUKUOKA CHUO BANK, LTD.)
本店所在地	福岡市中央区大名二丁目12番1号
資 本 金	25億円
預 金	3,887億円 (譲渡性預金を含む)
貸 出 金	2,981億円
従 業 員	518名 (男性339名、女性179名)
店 舗 数	41店舗 (本支店39・出張所2)
株 式 上 場	福岡証券取引所 (昭和43年3月) (平成19年9月30日現在)



ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡中央銀行を格別にお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

当行は福岡県内を営業地盤とし、地域社会とともに発展することを経営理念に掲げ、地域金融機関としての使命を果たすとともに、健全経営を貫く銀行として高い評価を得てまいりました。

これもひとえに、皆さま方の永年にわたる暖かいご支援の賜と心から感謝いたしております。

私ども福岡中央銀行は「この街でごいっしょに」の精神のもと、お客さま一人ひとりを大切にする「ハート・ツー・ハート」の金融サービスを力強く推し進め、地域の皆さまからより一層広く、深く愛され親しまれる銀行を目指して努力してまいります。

今後とも、引き続き倍旧のご支援・ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、この小誌が皆さま方に、当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いに存じます。

平成19年12月

取締役頭取 田中克佳

経営方針・中期経営計画

【経営方針】

当行は、「福岡県内を営業地盤に中小企業専門金融機関としての使命と役割に徹し、地域社会とともに発展する」ことを経営理念に掲げ、特に、中・小規模の企業・事業所と個人のお客さまを中心に中・小口取引に特化した営業活動を展開しております。

平成19年4月より、お客さまの目線に立った営業活動を通じて地域経済へ貢献するとともに、資産の健全性確保と収益性向上によりお客さまからの信頼を深めることを基本方針として、向こう2年間における新しい「中期経営計画」をスタートさせております。

この「中期経営計画」における諸施策を着実に遂行することにより、今後とも地域の中小企業および個人の皆さまにとって、なくてはならない「この街でごいっしょに」の地域金融機関として、役職員一致協力して地域貢献を果たしてまいります。



【中期経営計画】

〈計画期間〉

平成19年4月から平成21年3月まで

〈基本方針〉

1. お客さまの目線に立った営業活動を通じた地域経済への貢献
2. 収益力の強化、健全性の確保による経営体質の強化
3. 人材の育成

〈主要施策〉

1. ガバナンス態勢の強化
2. 収益力の強化
3. 顧客サービスの充実、営業基盤の拡充
4. 人材の育成と活性化



福岡中央銀行 本店



Q 平成19年9月期の業績はどうだったの？

A おかげさまで、預金・預かり資産ともに順調に推移しました。

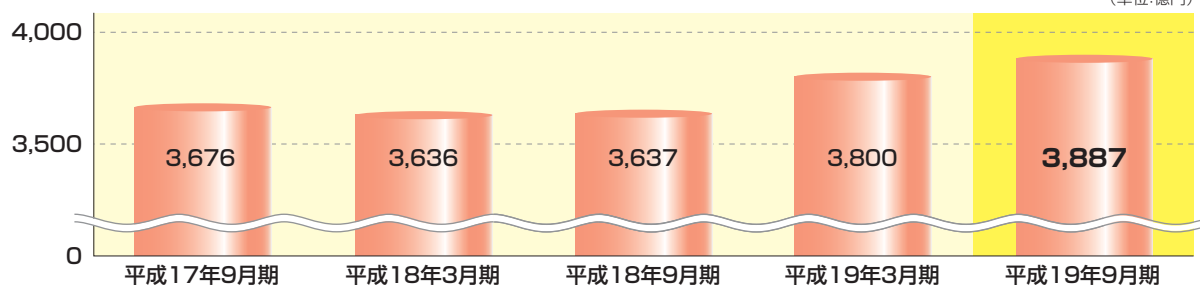
■ 預金

(預金には譲渡性預金を含む)

預金残高は、前年同期比で**250億円増加**して**3,887億円**となりました。

■ 預金残高の推移

(単位:億円)



■ 預かり資産

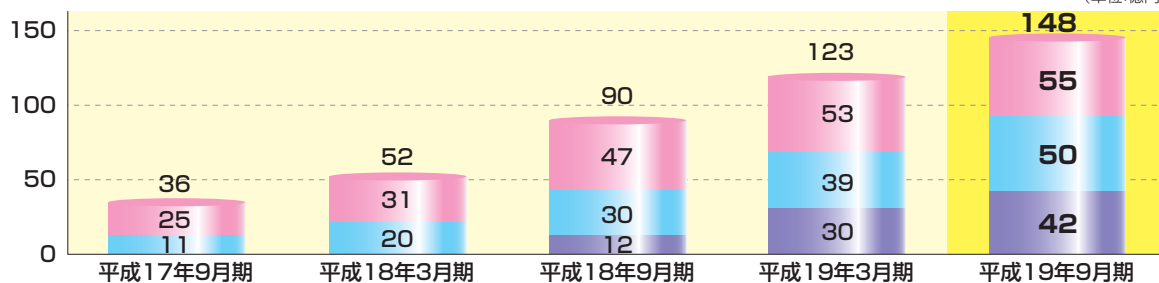
預かり資産残高は、前年同期比で**58億円増加**して**148億円**となりました。

当行はお客様の多様化する資産運用ニーズにお応えするために、保険、公共債、投資信託などさまざまな金融商品のご提供を行っております。

■ 預かり資産残高の推移

■ 保険残高 ■ 公共債残高 ■ 投資信託残高

(単位:億円)



※投資信託は、平成18年9月期よりお取扱い開始しております。

A 貸出金もお取引先の資金需要にお応えした結果、増加し続けております。

■ 貸出金

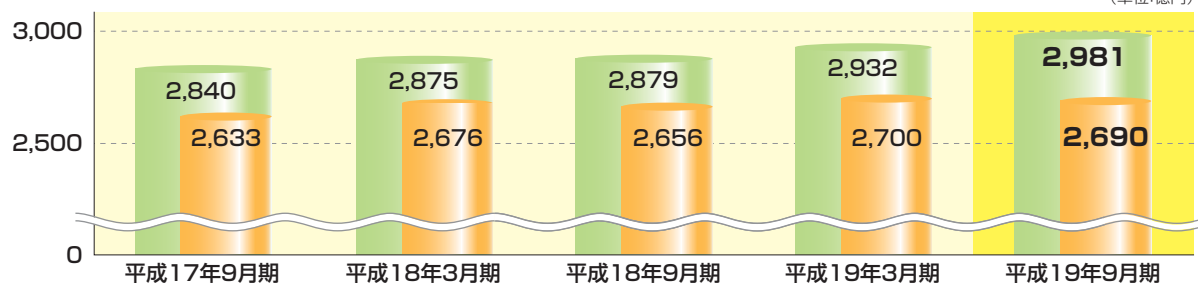
(中小企業等向け貸出金には個人向け貸出金を含む)

貸出金残高は、前年同期比で**102億円増加**して**2,981億円**となりました。

■ 貸出金残高の推移

■ 貸出金残高 ■ うち中小企業等向け貸出金残高

(単位:億円)



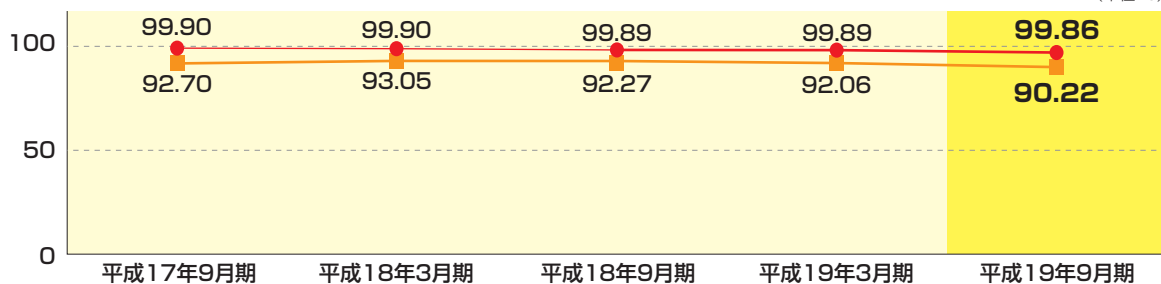
当行は“地元で親しまれ、信頼される銀行”を目指して、地域の皆さまの資金需要に対して積極的に取り組んでまいりました。特に、地元中小企業および個人の皆さまへは、変わらぬ姿勢でご要望にお応えしております。この結果、貸出金のうち**中小企業等向け貸出金残高比率は90.22%**、**貸出先件数比率は99.86%**に達しております。

今後とも引き続き地域金融機関として地元中小企業および個人の皆さまの健全な資金需要に対する的確にお応えし、地域社会の発展に貢献していきたいと考えております。

■ 中小企業等向け貸出金残高比率・貸出先件数比率の推移

■ 貸出金残高比率 ● 貸出先件数比率

(単位:%)



Q 損益の状況は？

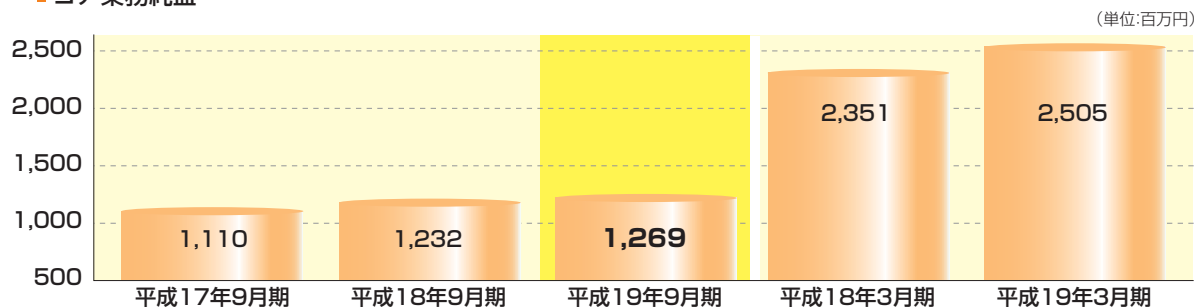
A コア業務純益・経常利益は中間期で過去最高になりました。

■ 損益状況

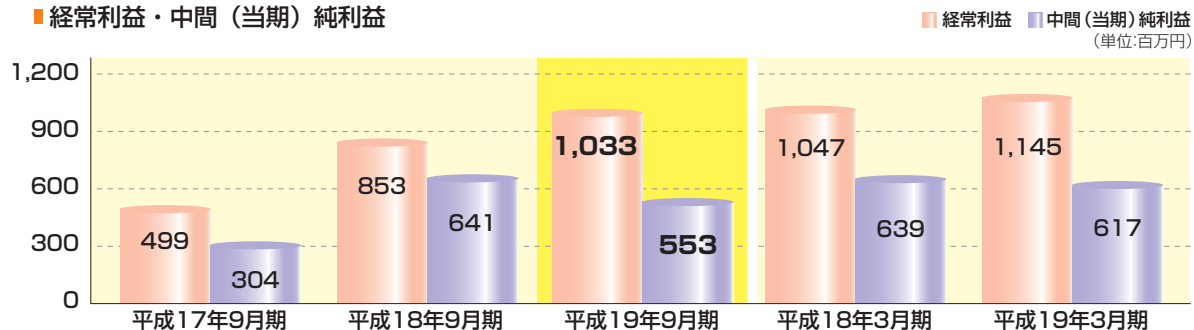
コア業務純益は、前年同期比で**37百万円増加**して、**12億69百万円**と中間期で**過去最高**になりました。
経常利益は、前年同期比で**1億80百万円増加**して、**10億33百万円**と中間期で**過去最高**になりました。
中間純利益は、**5億53百万円**となりました。

当行は昭和26年創立以来56年間**黒字決算**を続けております。

■ コア業務純益



■ 経常利益・中間(当期)純利益



用語のご説明

- コア業務純益** 預金や貸出金、為替業務などであげた利益(業務純益)から一時的な変動要因を除いた、銀行の本来業務での利益です。
- 経常利益** 銀行が本業を含めて普段行っている継続的な活動から得られる利益です。
- 中間(当期)純利益** 経常利益に特別損益と税金等を加減算した最終的な利益です。

Q 自己資本比率はどのくらいなの？

A 国内基準の2倍以上の9.35%です。

■ 自己資本比率

銀行の安全性・健全性を示す最も代表的な指標が自己資本比率です。

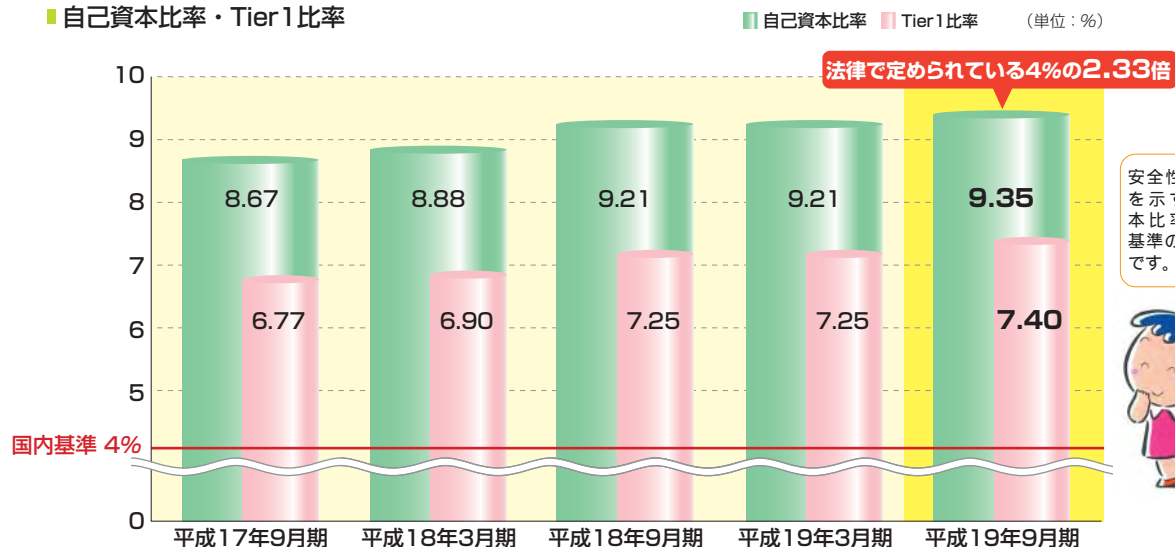
自己資本比率は国内のみで営業している銀行は国内基準の4%以上、海外に拠点を持つ銀行は国際統一基準の8%以上を保つ必要があり、当行は国内基準4%以上の自己資本比率の確保が求められております。

当行の**自己資本比率は9.35%**と**国内基準の2倍以上**あり、劣後ローン等の負債性調達手段に頼ることなく**高い安全性**を維持しております。

また、**Tier 1 比率も高く、高い健全性を維持しております。**

今後も収益力を高め内部留保を積み上げることにより、自己資本の充実を図ってまいります。

■ 自己資本比率・Tier1比率



用語のご説明

自己資本比率

信用リスク・アセット（総資産のうち、貸し倒れの可能性がある資産）等に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。

Tier 1 比率

自己資本のうち、資本金および剰余金などを基本的項目（Tier 1）といい、これを分子として計算した自己資本比率がTier 1 比率です。

Q 不良債権の状況は？

A 厳格な資産査定と適切な保全・引当で備えは万全です。

■ 不良債権

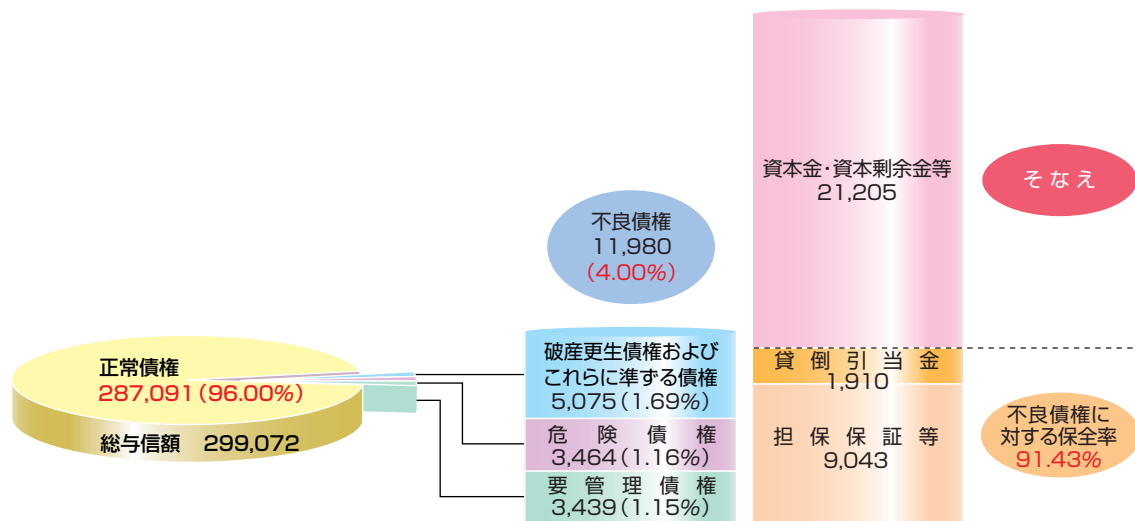
平成19年9月期の金融再生法開示基準による**正常債権**は**2,870億91百万円 (96.00%)**、不良債権は119億80百万円 (4.00%) となっております。

当行は不良債権問題について厳格に取組み、万一企業が倒産等した場合に対処できるように、貸倒引当金や担保保証等による**保全**を行っております。

また、貸倒引当金や担保保証等で保全されていない部分については、**そなえ**(資本金・資本剰余金等)があり十分対応可能です。

■ 金融再生法開示債権および保全・引当等の状況(平成19年9月期)

(単位:百万円)



【金融再生法開示債権の定義】

用語のご説明

破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権。

危険債権

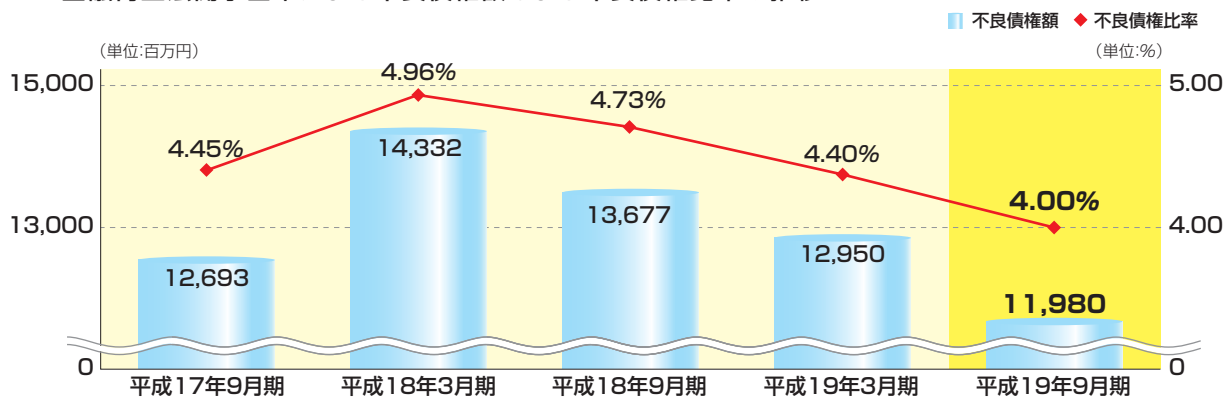
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権。

金融再生法開示基準による当行の**不良債権額**は、前年同期比で**16億97百万円減少**して119億80百万円、**不良債権比率**は前年同期比で**0.73%減少**して4.00%となりました。

■ 金融再生法開示基準による不良債権額および不良債権比率の推移



平成19年9月期の金融再生法開示債権119億80百万円のうち、109億54百万円は貸倒引当金や担保保証等でカバーしており、保全率は91.43%と**十分な備えを行っております**。

また、貸倒引当金や担保保証等で保全されていない部分の10億26百万円については、**そなえ(資本金・資本剰余金等)が212億5百万円あり、十分対応可能です**。

■ 金融再生法開示債権の保全内訳 (平成19年9月期)

平成19年9月30日		(単位:百万円)			
破産更生債権およびこれらに準ずる債権		危険債権	要管理債権	合計	
開示債権額 (A)		5,075	3,464	3,439	11,980
対象債権に対する貸倒引当金 (B)		1,032	349	528	1,910
担保・保証等による保全額 (C)		4,043	2,972	2,027	9,043
保全額 (D=B+C)		5,075	3,322	2,556	10,954
開示額に対する保全率 (D÷A)		100.00%	95.87%	74.31%	91.43%

Q 中間財務諸表は？

A おかげさまで当行は昭和26年創立以来56年間黒字決算を続けております。

● 中間貸借対照表

(平成19年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	8,039	預 金	383,569
コールローン	25,700	譲渡性預金	5,144
買入金銭債権	66	外国為替	0
商品有価証券	171	その他負債	1,703
有価証券	72,629	退職給付引当金	876
貸出金	298,180	役員退職慰労引当金	199
外国為替	133	睡眠預金払戻損失引当金	76
その他資産	1,096	再評価に係る繰延税金負債	2,653
有形固定資産	11,605	支払承諾	605
無形固定資産	196	負債の部合計	394,830
繰延税金資産	752	(純資産の部)	
支払承諾見返	605	資本金	2,500
貸倒引当金	△3,142	資本剰余金	1,203
		資本準備金	1,203
		利益剰余金	12,286
		利益準備金	1,396
		その他利益剰余金	10,890
		固定資産圧縮積立金	491
		別途積立金	9,575
		繰越利益剰余金	823
		自己株式	△55
		(株主資本合計)	(15,934)
		その他有価証券評価差額金	1,397
		土地再評価差額金	3,872
		(評価・換算差額等合計)	(5,270)
		純資産の部合計	21,205
資産の部合計	416,035	負債及び純資産の部合計	416,035

● 中間損益計算書

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	5,392
資金運用収益	4,939
(うち貸出金利息)	(4,228)
(うち有価証券利息配当金)	(653)
役務取引等収益	387
その他業務収益	2
その他経常収益	62
経常費用	4,359
資金調達費用	551
(うち預金利息)	(546)
役務取引等費用	387
営業経費	3,166
その他経常費用	254
経常利益	1,033
特別利益	89
特別損失	263
税引前中間純利益	858
法人税、住民税及び事業税	56
法人税等調整額	248
中間純利益	553

● 中間株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本								自 己 株 式	株主資本合計
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余金計	自己株式		
		資本準備金	利益準備金	固定資産 圧縮積立金	その 他利益剰 余金 繰上 積立金	繰上 利益 剰余 金				
平成19年3月31日残高	2,500	1,203	1,396	493	9,075	836	11,801	△51	15,454	
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当						△68	△68		△68	
中間純利益						553	553		553	
自己株式の取得								△4	△4	
自己株式の処分						△0	△0	0	0	
固定資産圧縮積立金の取崩				△1		1				
別途積立金の積立					500	△500				
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)										
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	△1	500	△12	485	△4	480	
平成19年9月30日残高	2,500	1,203	1,396	491	9,575	823	12,286	△55	15,934	

	評価・換算差額等				純資産合計
	その 他有価 証券 評価 差額金	土 地 再 評 価 額	評 価 ・ 換 算 差 額 金	評 価 ・ 換 算 等 合 計	
平成19年3月31日残高	3,101	3,872	6,974		22,428
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当					△68
中間純利益					553
自己株式の取得					△4
自己株式の処分					0
固定資産圧縮積立金の取崩					
別途積立金の積立					
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	△1,703	-	△1,703		△1,703
中間会計期間中の変動額合計	△1,703	-	△1,703		△1,223
平成19年9月30日残高	1,397	3,872	5,270		21,205

Q 地域貢献にはどのように取り組んでいるの？

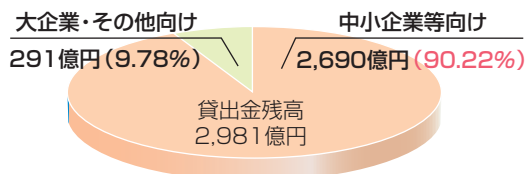
A 当行貸出金は、地元中小企業および個人のお取引先向け中心となっております。

(平成19年9月30日現在)

1 当行の中小企業等向け貸出金の比率

当行の中小企業等向け貸出金残高は2,690億円であり、貸出金残高全体に占める比率は**90.22%**となっております。

■ 中小企業等向け貸出金の比率(個人向け貸出金含む)



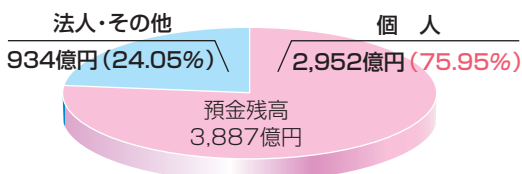
A 当行預金は、個人のお客さまが中心となっております。

(平成19年9月30日現在)

1 当行の個人預金残高の比率

当行の個人預金残高は2,952億円であり、預金残高全体に占める比率は**75.95%**となっております。

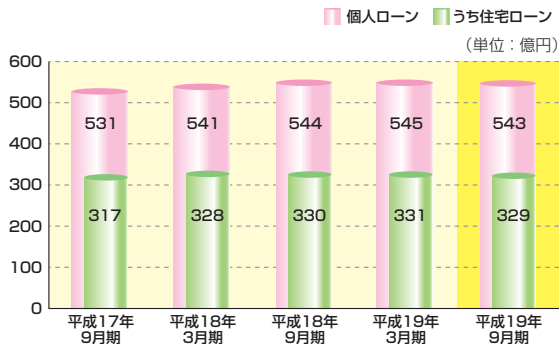
■ 個人預金残高の比率(譲渡性預金を含む)



2 当行の個人ローンの状況

地域のお客さま向け個人ローンの残高は543億円、個人ローンのうち住宅ローンの残高は329億円となっております。

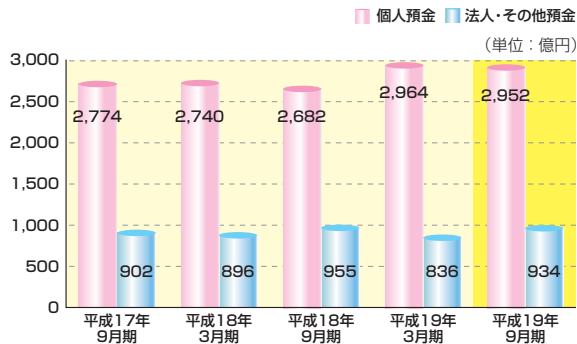
■ 個人ローン残高の推移



2 当行の個人預金残高の状況

個人預金残高は、前年同期比10.06%増加して2,952億円となっております。

■ 個人預金残高の推移(譲渡性預金を含む)



A さまざまな融資を取扱っております。

(平成19年9月30日現在)

1 担保・保証に過度に依存しない融資の取扱い

事業者の皆さまのニーズにすばやくお応えするために、中小企業等向けビジネスローン『福中銀事業応援ローン』の取扱いをしております。本商品は担保・保証人を必要とせず、白色申告者も対象となるのが特徴で、ご利用残高は1,606件41億円となっております。

また福岡県信用保証協会と提携した担保を必要としない『福中銀スーパー事業応援ローン』も好評で、ご利用残高は1,409件116億円となっております。

さらに最高3,000万円までのご融資が可能な『福中銀事業応援ローンワイド』のご利用残高は、951件74億円となっております。

•お問合せ先

各お取引店の融資窓口もしくは
福中銀ふれあいプラザ

TEL 092-751-4667

(受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
但し、銀行休業日を除きます)

2 地方自治体の制度融資の取扱い

当行は福岡県や市町村の制度融資の取扱窓口として、中小企業等向け資金ニーズにお応えするための取組みを行っております。

制度融資のご利用残高は9,255件398億円となっております。



種類	担保	ご融資金額	資金のお使いみち・特色
福中銀事業応援ローン	不要	100万円～1,000万円	担保・保証人不要で（法人のみ代表者の保証）、青色・白色申告の方もご利用いただけます。運転資金・設備資金・他行でお借入の事業資金の借換えおよび一本化等地域の皆さまの幅広いニーズにお応えします。
福中銀スーパー事業応援ローン	不要	100万円～2,000万円（法人） 100万円～1,000万円（個人事業者）	福岡県信用保証協会と提携した担保を必要としないローンで、取扱手数料不要です。借入期間は最長7年まで可能で、青色・白色申告の方もご利用いただけます。地域の皆さまの幅広いニーズにお応えします。
福中銀事業応援ローンワイド	不要	100万円～3,000万円	最高3,000万円までのご融資が可能な担保を必要としないローンで、事業資金の借換えにもご利用いただけます。さらにお申込から3営業日目安のスピード回答で、地域の皆さまの幅広いニーズにお応えします。

Q地域貢献にはどのように取り組んでいるの？

A 地域の皆さまの豊かな暮らしのお手伝いと、中小企業の経営支援を行っております。

1 お客さまからのご相談等の受付

（受付：月曜日から金曜日 午前9時～午後5時）
但し、銀行休業日を除きます。

お客さまからのご相談等にお応えするため、下記の相談センターを設置しております。
銀行業務に関してお困りのことやご要望がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

福中銀ふれあいプラザ

●融資相談センター

主な
仕事

- 企業や個人のお客さま、さらに今後事業を始めようとお考えの方などの借入れに関する相談や公的機関等への仲介
- 創業・新事業支援
- 経営改善等についての相談・支援

●お客さまサービスセンター

主な
仕事

- 地域・お客さまからの経営・税務等の各種相談
- 事業承継・M&A、ビジネスマッチング等の相談・支援
- 経営者クラブや各種セミナーへの参加お申込等

●保険・投信窓販センター

主な
仕事

- 生命保険銀行窓販業務に関する相談
- 損害保険銀行窓販業務に関する相談
- 資産運用に関する相談

中・小企業経営支援

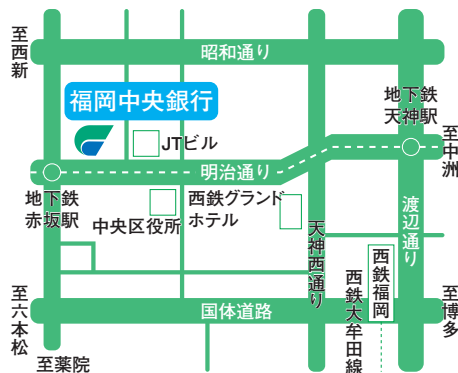
・お問合せ先 融資統括部
TEL092-751-4449

主な
仕事

- 事業再生、経営改善支援
- 創業・新事業支援
- 福岡県中小企業再生支援協議会の活用について協力支援

福中銀ふれあいプラザ

- ・所在地 福岡市中央区大名二丁目12番1号
当行本店 2階
(地下鉄赤坂駅3番出口より天神方面
へ徒歩1分 中央区役所斜め前)
- ・営業時間 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
但し、銀行休業日を除きます。
- ・お問合せ先 TEL092-751-4667



2 「ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部」を発足

平成19年4月より、「ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部」を発足しました。

当倶楽部は、経営者・事業後継者および企業経営のノウハウを修得したいと考えている方々に、インターネットを活用して、日常の経営実務に役立ち、ビジネスチャンスに直結する様々な情報をタイムリーにご提供し、事業発展のお手伝いをしております。

- ・ お問合せ先 福中銀ふれあいプラザ



3 九州金融情報ネットワーク「QFネット」で経営者の皆さまをサポート

「QFネット」は、九州地区第二地方銀行8行による企業経営問題の解決支援組織です。

ビジネスマッチングやM&A等、取引先が抱える経営課題に関する情報を随時交換することによって、地域社会への貢献並びに地元企業の発展や存続の支援等を図り、地域経済の活性化を目指しております。

- ・ お問合せ先 福中銀ふれあいプラザ

4 「講演会」「交歓会」の開催による地域の皆さまへの経済活動の促進と交流に貢献

毎年1月には著名人、有識者をお招きし、政治・経済・社会等の幅広いテーマで講演会を行っております。また、地域の企業や個人の皆さまの交流に貢献するために交歓会も開催しております。

- ・ 開催日 平成19年1月19日(金)
- ・ テーマ 「人生フルスイング」
- ・ 講師 衣笠祥雄氏(野球解説者)



5 国税還付申告相談会を開催

公的年金をお受取りの方や、自宅の取得・増改築等を行われた方等に対して、税理士への無料相談や、申告書の提出ができる国税還付申告相談会を定期的で開催しております。



A 地域との密着化も図っております。

1 地域行事への参加

本店・支店ともに地域行事への参加を通して、地域の皆さまとのふれあいやコミュニケーションを深めております。



2 本店アトリウムの開放

当行は、地域の生活文化をサポートし、つねに皆さまのお役に立てることを願っております。

その一環として、当行本店にアトリウムを設け、皆さまのくつろぎのひとときを演出する空間として、またコンサートや展示会などのアートスペースとして無料で開放しております。

どうぞ皆さまの個性と感性を伝えるギャラリーとしてご活用ください。

催物の開催予定はホームページでご紹介しております。



3 献血への参加

私たちは平成3年に創立40周年を記念して社会のお役に立てることとして献血活動を始めました。

毎年6月の創立記念月を『献血の月』とし、福岡県赤十字血液センターにおいて行員による成分献血を実施しております。



4 福岡県「子育て応援宣言」に登録

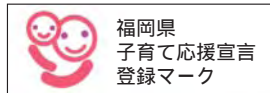
福岡県では、子育てをしながら引き続き能力を活かして働くことが出来る社会の実現を目指し、「子育て応援宣言」登録企業を広く求めています。当行もその趣旨に賛同し、以下の宣言を行いました。

子育て応援宣言書

我が社は、従業員が出産・育児期を通して十分な子育てをしながら、引き続きその職務能力が発揮できるよう、次の取組みを行うことを宣言します。

取組内容

- ・毎週水曜日の早帰り日を推進し、子どもとのふれあいを大切にします。
- ・配偶者の出産時休暇制度を奨励します。
- ・子ども看護休暇制度の周知を図ります。



A CD・ATMを安全・便利にご利用いただけるよう取り組んでおります。

1 CD・ATMを利用した犯罪被害防止策の実施

当行は、地域の皆さまにキャッシュカードを安全にご利用いただけるよう、セキュリティの強化に努めております。

- ATMでの1日1口座あたりのご利用限度額を現金のお支払は50万円、お振込は200万円としております。
- お客さまご自身がATMで1日1口座あたりのご利用限度額や暗証番号の変更ができます。また、営業店窓口での変更もできます。
- 暗証番号変更時、生年月日等類推されやすい暗証番号の登録を制限しております。
- のぞき見防止のため、ATMタッチパネルに遮光フィルターを貼付し、後方確認のためのミラーを設置しました。

カード・通帳・印鑑等をなくされた時のご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
お取引店または当行本支店
(電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください)
- 銀行休業日および上記以外の時間帯
福岡中央銀行CD監視センター

TEL 092-751-5036

2 CD・ATMの提携によるサービスのご提供

当行は、皆さまが便利にご利用いただけるように、福岡銀行、西日本シティ銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本ファミリー銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行とCD・ATMの手数料無料提携を行っておりますので、提携先のCD・ATMもご利用ください。

無料で利用できるお時間は、銀行休業日を除く月曜日から金曜日の午前8時45分～午後6時です。

- ※ お引き出しについては、個人のキャッシュカード（ローンカードを含む）のみご利用可能で、通帳でのお引き出しはできません。
- ※ 自動サービスコーナーによって、ご利用可能な曜日や時間が異なります。
- ※ 共同コーナーには手数料無料化の対象とならないコーナーがあります。
- ※ 銀行休業日や延長時間帯におけるご利用の際には、各行所定の時間外手数料が必要となります。



Q 紛失・変更手続きはどうしたらいいの？

A よくあるご質問にお答えします。

Q1 通帳・キャッシュカード・印鑑を紛失した時はどうしたらいいの？

A すぐにお取引店または当行本支店にお電話ください。盗難の場合は、警察にもお届けください。

ご連絡先

- 月曜日から金曜日 午前9時～午後5時
お取引店または当行本支店
(電話番号は裏表紙「店舗・ATMのご案内」をご覧ください)
- 銀行休業日および上記以外の時間帯
福岡中央銀行CD監視センター
TEL 092-751-5036

電話でのお届けは仮のお届けです。

書面での正式なお届けが必要ですので、お早めに次のものをご用意いただき、お近くの福岡中央銀行の窓口にお申し出ください。

●通帳やキャッシュカードを紛失された時

お届け印



本人確認資料
(運転免許証・パスポートなど)



- ※キャッシュカードを紛失された時のみ通帳も必要です。
- ※通帳やキャッシュカードの再発行には、手数料が必要です。
- ※通帳またはキャッシュカードを発見された時は、発見された通帳またはキャッシュカードとお届け印、および本人確認資料をご用意いただき、お近くの福岡中央銀行の窓口にお申し出ください。

●印鑑を紛失された時

通帳



今後で使用予定の印鑑



本人確認資料
(運転免許証・パスポートなど)



- ※正式なお届け出前に印鑑を発見された時は、お届け印、通帳またはキャッシュカードおよび本人確認資料をご用意いただき、お近くの福岡中央銀行の窓口にお申し出ください。

Q2 住所や届出印鑑を変更したい時は？

A 次のものをご用意いただき、お近くの福岡中央銀行窓口にお申し出ください。

●住所を変更したい時

通帳



お届け印



本人確認資料
(運転免許証・パスポートなど)



●印鑑を変更したい時

通帳



お届け印



今後で使用予定の印鑑



※ただし、当座・融資のお取引をいただいているお客さまは、別途書類が必要となりますので、お取引店にお問合せください。

Q3 暗証番号を変更したい時は？

A キャッシュカードをご用意いただき、当行のATMで変更することができます。

当行窓口でキャッシュカードとお届け印、本人確認資料をご用意いただき変更することもできます。

ご注意ください!!

- ☆ 暗証番号は類推されやすい番号を避け、定期的に変更されることをお勧めします。
- ☆ 銀行員などが店舗外や電話等でキャッシュカードの暗証番号をお尋ねすることはありませんが、他人に知られないよう、十分にご注意ください。

役員・株式のご案内

● 役員のご案内 ●

(平成19年9月30日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	田中克佳
専務取締役 (代表取締役)	新宮五三
専務取締役 (代表取締役)	末松修
常務取締役	古賀正三
取締役	今村七生
取締役	中村満雄
取締役	梅津薫
取締役	重富隆信
取締役	榎原学
取締役	力丸光典
常任監査役 (常勤)	福澤秀年
監査役 (非常勤)	進谷庸助
監査役 (非常勤)	田中優次
監査役 (非常勤)	蔵野八郎

(注) 監査役進谷庸助、田中優次および蔵野八郎は、社外監査役です。

● 株式のご案内 ●

- 1. 事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- 2. 定時株主総会** 6月
- 3. 期末配当** 株主総会の決議によって、毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、お支払します。
- 4. 中間配当** 取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、お支払します。
- 5. 基準日** 定時株主総会の基準日については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- 6. 株式事務取扱場所・取次所**

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社
全国各支店
- 7. 公告方法** 電子公告により当行ホームページに掲載します。
(<http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および福岡市において発行する西日本新聞に掲載します。

店舗・ATMのご案内

(平成19年12月1日現在)

店舗の名称および所在地

[金融機関コード 0582]

店舗コード

● 土曜日・日曜日・祝日ATM稼働店

001	●	本店営業部	〒810-0041	福岡市中央区大名二丁目12-1	092-751-4433
002		川支店	〒810-0005	福岡市中央区清川一丁目12-3	092-521-0531
031	●	尾支店	〒810-0014	福岡市中央区平尾二丁目19-22	092-531-4635
005	●	馬出支店	〒812-0054	福岡市東区馬出二丁目22-21	092-651-6961
027	●	香椎支店	〒813-0013	福岡市東区香椎駅前二丁目9-6	092-681-2136
004	●	博多支店	〒812-0026	福岡市博多区上川端町3-4	092-281-5107
026	●	博多駅前支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅前一丁目1-25	092-411-7461
042	●	筑紫通支店	〒812-0893	福岡市博多区那珂一丁目22-3	092-451-2851
006	●	雑餉隈支店	〒812-0879	福岡市博多区銀天町三丁目6-21	092-581-3731
003	●	新西支店	〒814-0002	福岡市早良区西新五丁目1-38	092-821-3061
039		室見駅前出張所	〒814-0015	福岡市早良区室見四丁目24-21	092-851-4344
032	●	原新支店	〒814-0022	福岡市早良区原六丁目21-31	092-851-6261
036	●	長尾支店	〒819-0025	福岡市西区石丸一丁目12-23	092-882-0711
030	●	七隈支店	〒814-0123	福岡市城南区長尾一丁目17-10	092-861-0211
033	●	野間支店	〒814-0133	福岡市城南区七隈三丁目1-24	092-862-3871
016	●	大橋支店	〒815-0041	福岡市南区野間一丁目11-31	092-541-4534
028	●	大橋支店	〒815-0033	福岡市南区大橋三丁目27-18	092-541-6365
037	●	大橋支店	〒811-1355	福岡市南区大橋支店	092-512-8911
038	●	大橋支店	〒811-1352	福岡市南区鶴田二丁目22-5	092-565-7398
045	●	前原支店	〒819-1116	前原市前原中央一丁目5-1	092-324-4371
029	●	二日市支店	〒818-0072	筑紫野市二日市中央五丁目8-3	092-922-6731
035	●	須玖支店	〒816-0863	春日市須玖南一丁目113	092-572-1321
040	●	大須支店	〒816-0952	大野城市下大須一丁目1-13	092-581-6051
041	●	ひまわり出張所	〒818-0134	太宰府市大佐野六丁目2-8	092-925-9771
034	●	自由ヶ丘支店	〒811-4163	宗像市大字自由ヶ丘五丁目975-11	0940-33-3321
046	●	志免支店	〒811-2207	糟屋郡志免町南里四丁目11-7	092-937-1211
007	●	小倉支店	〒803-0812	北九州市小倉北区室町二丁目6-1	093-561-4985
008		門司支店	〒801-0856	北九州市門司区浜町2-18	093-321-3861
009		戸畑支店	〒804-0082	北九州市戸畑区新池二丁目10-11	093-871-4524
025	●	黒崎支店	〒806-0026	北九州市八幡西区西神原町2-30	093-631-4538
011		若松支店	〒808-0034	北九州市若松区本町二丁目3-28	093-761-4723
017	●	行橋支店	〒824-0003	行橋市大橋三丁目6-7	0930-23-2381
013	●	行飯支店	〒820-0068	飯塚市片島一丁目1-14	0948-22-2380
014		直方支店	〒822-0017	直方市殿町10-31	0949-22-2110
015		田川支店	〒825-0012	田川市日の出町3-5	0947-42-3111
020		久留米支店	〒830-0017	久留米市日吉町5-43	0942-33-7391
043		久留米支店	〒839-0809	久留米市東合川二丁目3-7	0942-43-1091
021		大牟田支店	〒836-0842	大牟田市有明町二丁目1-1	0944-52-4246
022		大牟田支店	〒831-0016	大川市大字酒見130-1	0944-87-3200
023		大牟田支店	〒834-0063	八女市本村425-237	0943-23-2181
024		大牟田支店	〒838-0068	朝倉市甘木1818-1	0946-22-3900

店舗外自動サービスコーナー

● 土曜日・日曜日・祝日稼働店

<福岡市中央区>	●	ソラリアプラザ地下1階(CD)	<筑紫野市>	筑紫野市役所(CD)
	●	西鉄福岡駅2階コンコース北側(ATM)	<前原市>	前原市役所(CD)
	●	福岡市鮮魚市場会館1階(CD)	<糟屋郡志免町>	志免町役場(CD)
<福岡市博多区>	●	地下鉄博多駅前支店地下1階コンコース(ATM)	<行橋市>	行橋市役所(CD)
	●	福岡合同庁舎1階(CD)	<直方市>	直方市役所(CD)(2台)
	●	千鳥橋病院内(ATM)	<田川市>	田川市役所(CD)(2台)
<福岡市城南区>	●	南片江テングッド片江ビル1階(ATM)		田川市立病院(CD)(2台)
<春日市>		春日市役所(CD)	<朝倉市>	朝倉市役所(CD)



この街でこいっしょに

福岡中央銀行

福岡中央銀行 総合企画部

〒810-0041 福岡市中央区大名二丁目12番1号 TEL 092-751-4431(代)

ホームページ <http://www.fukuokachuo-bank.co.jp>